

○ 2024年問題概要

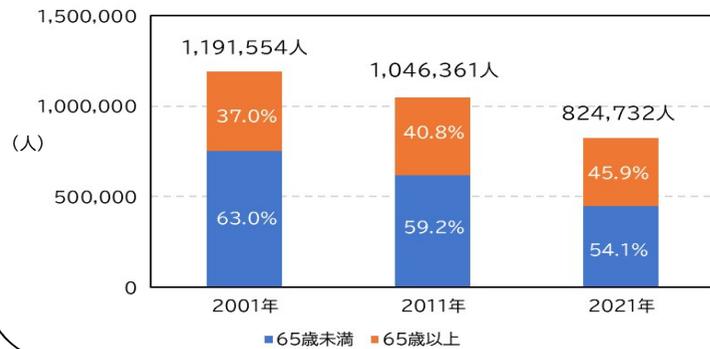
1 バス運転手不足の現状

路線バスを運転するためには大型二種免許が必要ですが、近年、その保有者数が大幅に減少しています。

【図1】のとおりに、2001年の保有者数1,191,554人に対し、2021年は824,732人と、7割以下にまで減少しています。

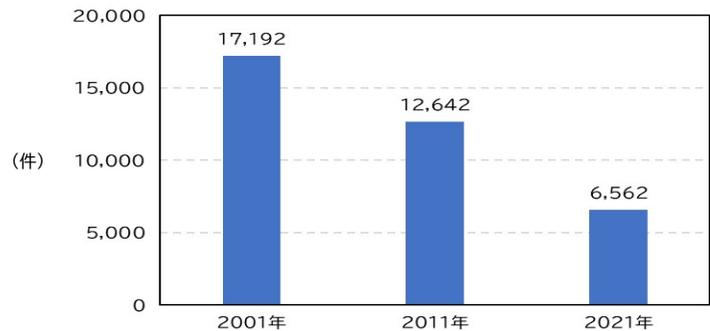
また、保有者の高齢化も進んでおり、65歳以上の割合が、2001年では37.0%だったのに対し、2021年は45.9%と、20年間で約9%上昇しています。

【図1】大型二種免許保有者数と65歳以上の割合「運転免許統計より」



また、【図2】のとおりに、大型二種免許の交付件数も、2001年では年間17,192件あったものが、2021年では6,562件と、大幅に減少しています。

【図2】大型二種免許交付件数の推移「運転免許統計より」



2 2024年問題について

近年話題となっている「2024年問題」とは、【図3】のとおりに「働き方改革関連法」による「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」が、同年4月1日から運輸サービスに対して、適用されることにより生じる問題の総称のことです。

【図3】自動車運転者の労働時間等の改善のための基準「厚生労働省HPより」

長時間労働・過重労働の実態にある自動車運転者の健康確保等の観点から、見直しを行うもの。

	現行	見直し後
1年の拘束時間	3,380時間	原則： 3,300時間
4週平均1週	【4週平均1週間】 原則： 65時間 (月換算：281時間)	【1か月の拘束時間】 原則： 281時間
1か月の拘束時間	最大： 71.5時間 (月換算：309時間)	最大： 294時間 ※281時間を超える月が4か月を超えて連続しないこと。 ※4週平均1週の拘束時間も同水準で存置。1か月と選択可。
1日の休息期間	継続8時間	継続11時間を基本とし、9時間下限

※バス事業者の場合

- ・拘束時間…使用者に拘束されている時間のこと。（「労働時間」+「休憩時間」）
（会社へ入社（始業）し、仕事を終えて会社から退社（終業）するまでの時間）
- ・休息期間…使用者の拘束を受けない期間のこと。（業務終了時刻から、次の始業時刻までの時間）

1の状況下により、バス事業者は、慢性的に人手不足であり、最低限の人員で辛うじて運行を維持しているところ、さらに2の問題により、勤務時間の上限が1時間短縮されると、バスの路線やダイヤにも影響を及ぼします。

運転手不足による今後の影響や、乗降調査の結果、市民からの要望を踏まえ、令和2年3月に策定した再編計画の方針に基づき、今後、ルート及びダイヤの見直しを検討する必要があります。

【参考資料：公共交通トリセツ】